

情 報 公 開 文 書

研究の名称	HPV 陽性 ASC-US の細胞学的特徴の解析と再分類の試み
受付番号	3 7 4
研究機関の名称	富山赤十字病院（愛媛県立医療技術大学）
研究責任者	富山赤十字病院 病理診断科 部長 前田宜延
研究の概要	【研究対象者】 富山赤十字病院で 2020 年 4 月～2024 年 12 月の間に子宮頸部の治療もしくは検診を受けられた患者を対象とします。 【研究の目的】 現在の子宮頸部細胞診で用いられているベセスダシステムでは、HPV 感染の可能性やリスクに比重を置いた細胞形態学的変化に焦点を当てた主観的な評価が主体であるため、評価の再現性の低さを招いています。昨今では、細胞診検査の実施前に HPV-DNA 検査を実施する運用も検討されていますが、その結果が細胞検査士の診断に影響を及ぼす可能性もあると危惧されています。 この研究において、HPV 感染 LSIL 細胞(HPV 感染扁平上皮細胞)の特徴を形態学的所見に対応した免疫細胞化学的所見を加えることで、診断基準をより明確に、かつ客観的にし、それを ASC-US 診断に応用することで、ASC-US の再分類(陰性か LSIL 相当かの識別)に寄与することができると考えられます。 さらには、婦人科検診における不必要な精密検査の軽減につながることを期待されます。 【研究方法】 細胞診標本及び組織標本から細胞学的特徴及び HPV 感染の有無を調査し、患者さんの情報は病理支援システムから収集。 個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日等）を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。 【研究期間】 承認日から 2028 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 学会発表と論文としての公表を予定します。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	診療により採取された細胞診検体及び細胞診標本 診療により採取された細胞診検体から作製を行った組織診標本
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 病理診断科部長 前田宜延
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担 当 者 富山赤十字病院 病理診断科部長 前田宜延 電話番号 076-433-2222 受付時間 平日 14 時～16 時